

2008 「北東アジア青少年国際環境シンポジウム」  
- 基調講演：世界の環境問題及び各国の青少年の連帯の必要性 -

環境保全協会事務総長 チャン・キュシン

皆さん、こんにちは。環境保全協会の事務総長チャン・キュシンと申します。

まず、今日は韓国を始め、ロシア、中国、日本の北東アジア地域の青少年の皆さんがここ韓国の忠清南道の泰安（テアン）に一同に集まり『2008 北東アジア青少年国際環境シンポジウム』を開催することを、心から嬉しく思っております。更にこちら泰安は私が生まれ育った大切な故郷であり、このように美しい自然環境を皆様にご紹介するチャンスにもなっているので一層嬉しく思っております。

ぜひとも今回の行事を通じて環境を大切にする皆さんの関心をもっと高まって、また、お互いの友好と連帯感が深くなり、将来的には北東アジア地域の環境問題を賢明に解決していく21世紀の主演として活躍してほしいと思っております。

それでは、これから皆さんと一緒に最近話題になっている地球の環境問題とその解決案が何かについて一緒に考えてみたいと思います。

最近、環境問題は一つの国ではなく国境を越えて地球全体の問題になってきました。これは国と国の間で新しい形を作り、緊密な協力と努力する必要があることを意味します。

皆さんもご存知のように、過去数十年間世界は急速な産業発展を通じて経済的な成長目標は達成できましたが、その裏では多くの環境問題を起こしてきました。このような問題はこれから我々が解決しなければならない不可欠な課題として、これまで世界の多くの国々がこの問題について認識を共にしてきました。

今日私はこの場で二つのことを話したいと思います。

一番目には、世界の各地で発生している地球の環境問題に対して話します。二番目にはその問題の解決のためのみなさんの情報共有と連帯の必要性について話します。

ある一つの地域での環境汚染は、今ではその地域だけの被害に止まるのではなく、地球全体の環境問題にまで広がる可能性があるという事実注目しなければなりません。海洋汚染、酸性雨、気候変動、黄砂、砂漠化、資源枯渇などのたくさんの環境問題があります。

これらの多くの環境問題はどれも無視できない重要なものです。環境問題解決において重要な言葉が一つあります。

"地球全体(全地球的な考え)のことを思って、地域的に行動しなさい"。

この言葉は私たちが地球の中で一緒に生きて行く限り、お互いに影響を与えるしかないし、またその問題の解決も私たちが住んでいる場所、すなわち地域での問題から力を合わせて解決して行けば、はじめて私たちが望んでいるきれいな環境を作ることができるということを意味します。

一つの例をあげて見ます。

最近南極の氷河が溶けている話は皆さんもよく知っているでしょう。

これは一地域の環境問題ですが、地球全体の問題でもあります。

氷河が溶ければ海の水面は今よりもっと高くなり、海拔の低い地域の多くの国の土地が海に沈んで消えることとなります。

このような理由から、私たちは世界各地の環境問題に対してもっと耳を傾けなければなりません。

それでは解決方法はどのように搜したらいいのでしょうか？

南極の氷河が溶けないように冷蔵庫を持って行ってずっと水をお凍らせ続けなければならないのでしょうか？しかし、遠くまで行く必要もありませんし、またそんなこともできません。私たちが、今属している各自の場所で環境のための行動を一つ一つ実践して行けば良いのです。

氷河の溶ける原因は二酸化炭素という物質が大気中に多くなり、ビニールハウスのような温室効果状態、地球の気温が上昇する原因になるのです。

最近聞いている気候変動の問題は、まさにこのようなことが原因になっています。

したがって、二酸化炭素の発生を最大限減らすように私たちが生活の中で行動すれば、氷河がそんなに簡単に溶ける事はないでしょう。

もちろん言葉のように行動することは簡単ではありませんが、私たちの美しい未来環境のためには、不便なことがあっても環境にやさしい生活習慣に変えるために私たちが努力することは切実に必要です。

それではこれから環境問題に関する話をいくつか紹介します。

みなさんは最近一番話題になっている環境問題は何だと思えますか？

そうですね。どれも重要な環境問題ですが、最近全世界的に大きい問題になっているのが気候変動問題です。

単語だけ聞けば、あまり大きい問題ではないと思われるかも知れません。

"少し暑くなるとか、少し寒くなるのがそんなに大きい問題になるのか？"と思えますね。そして、また気候変動が長年にわたって発生しているのでそんなに大きい問題ではないと思うかも知れません。

しかし、いつか地球で生きている我々にとって、大きな災いになるかも知れないということは確実です。

映画 "トゥモロー (The Day After Tomorrow, 2004 )" や、 "不都合な真実 (An Inconvenient Truth, 2006)" を見たらその考えが少しはわかるかも知れません。

問題のポイントは、気候変動現象は人々が作り出した人為的な要素により、さらに加速化されているということです。これは自然が自らコントロールすることができる自浄能力のための時間を十分に持つことができないことにより、地球環境危機がもっと早くなるかも知れないということを行っているようです。

それでは気候変動が起きたらどんなことになるのでしょうか？

まず氷河が溶けるとすぐに海面上昇につながります。

それによって低い地域の土地が水に沈むようになりますが、アジア地域を見ると、休養地で有名な美しいモルディブ島や浜辺に多くの人々が住んでいるバングラデシュのような国の地面が消えてしまうかも知れません。

そうなれば、多くの人々が安全な地域まで移動しなければならない大きな問題が発生するかも知れません。映画 "トゥモロー" で多くの人々が環境災害を避けてアメリカの南地域に移動するように多くの国で人口移動現象が起きるようになるでしょう。

また地球温暖化が続いたら、地域によって大洪水、また激しい干ばつで被害を受ける地域がさらに広がるでしょう。最近東南アジア地域などでは、大きい台風による洪水と津波被害に関するニュースが以前より多くなっているような感じがします。

三番目には、干ばつ現象による水不足問題があげられます。

最近になって世界各国では激しい干ばつでたくさん問題が発生しています。

中国揚子江(ようすこう)では 100年ぶりの大規模な干ばつにより、人々の食水不足は勿論、野生の中国鉄甲鮫のような揚子江の珍しい水生生物が消えます危機に置かれていると聞きました。

現在世界の人口の 40%が深刻な水不足の状態です。

OECDの報告書によると、2025年には 52ヶ国 30億人が水不足を経験する予測であり、現在アフリカ中東などではもう 3億人が深刻な水不足の状態で、2050年には全世界人口の3分の2くらいが水不足の事態に直面すると言われています。

四番目には、生態系の変化です。

このような問題の発生原因はまさに地球温暖化だと思いますが、これは花の早期開化、鳥類の早期産卵、そして動・植物の生息地を変化させて断続的に動・植物の絶滅を加速化することに深刻性があります。

このような影響により、これまで自然生態系には莫大な被害が発生しており、また人々の間では気候変動と関連した珍しい病気が増えているようです。  
最近10年間の研究結果によると気温の上昇による死亡率も比例的に増加したと聞きました。

それではこのような現象をひき起こしている気候変動の原因は何でしょうか？  
気候変動を起こす主な原因としては、温室効果ガスの増加があげられます。  
適当な量の温室ガスは、地球を生命体が住みやすい場所にします。  
しかし過度な温室効果ガスの排出は地球温暖化を促進させることはもちろん、今まで申し上げた多くの環境問題の原因にもなります。

温室効果ガスには二酸化炭素、メタン、亜酸化窒素などがあります。  
これは自然的にも発生しますが、人為的に発生する量が多くなったため問題になっています。  
自動車や石油燃料などを使用する産業施設から発生する汚染物質などがその主犯だと思われるます。

自動車は我々が早く移動することができる便利な道具ですが、地球温暖化をひき起こしている原因でもあります。  
そのため、太陽光エネルギーなどの自然にやさしい代替エネルギーの開発が私たちには急務な課題になっています。

その他にも気候変動の原因としては、無分別な山林破壊とエネルギーの過剰な消費をあげることができます。  
昔の漢字の中で「休む」という漢字(休)を見たら木に人が寄りかかっています。  
それほど自然(木)は私たちに親密ですし、なくてはならない存在です。  
しかし現在地球の肺とも呼ばれているブラジルアマゾン川と近くの熱帯降雨林がどんどん人々の手によって伐採されて消えています。  
まるで休む(休)字に刃物の刃(刀)字が付いている感じです。  
結局、刃(刀)字が木だけではなく人も破壊してしまうのではないのでしょうか。

ここに、エネルギーの過剰消費文化は様々な温室効果ガスの排出量を増大させるという問題を発生します。  
私たちが生活の中で簡単に使う物についても一度考えて見なければなりません。

本当にたくさんの環境問題があります。  
気候変動と関係のあることだけを見ても、多くの問題が続きます。  
このような環境問題は一人だけが、一地域だけが、また一国家の力で解決できる問題ではありません。  
韓国の諺に "紙一枚も一緒に持っていれば軽い" という言葉があります。  
どんなに小さな仕事でも力を合わせたら楽にできるという話です。  
しかし諺の言葉のように、私たちは実際生活においては、そうではない場合が多いです。

特に環境問題は国家間のいろいろ複雑な問題が絡み合っていて、解決の糸口を捜すことが大変難しい立場に置かれています。

みなさんもお存知かもしれませんが、以前スウェーデンのストックホルムとブラジルのリオで各国の首脳が集まって地球の環境を守って行こうという、とても意味ある「世界環境宣言会議」がありました。私は今日のこの席が、大人が過去に開催した「世界環境宣言会議」に劣らず、もっと大きな飛躍のための皆さんの出発点になることを切に望みます。

そして、その最初の出発点が休まず、ずっと発展することで、未来の環境問題をみなさんの手で賢明に解決して行くことができることを希望します。

みなさんは各地域の代表、さらに各国の代表であり、私たちの地球の一つの生命体でもあります。

ぜひとも今回の行事を通じて、今までみなさんが見て感じてきた大事な経験を気安くお互いに話しながら、お互いの文化と環境についてももう少し理解し、また、参加者間の友愛ももっと深くなる意味ある時間になったらと思います。

私も自分が憶えている環境に関する話を一つ申し上げたいですね。  
私はこちらが故郷なので、幼い時から美しい自然の姿を見て、その中で育ちました。

夕方なら一面の山河を染めるような夕焼けと、夜ならすぐにでもこぼれ落ちるような無数の星、そして浜辺では涼しい波音など、どれ一つ忘れることができない大事なものでありました。

それで私の故郷は特に波音が美しくきれいだと言って波濤里（パドリ）という名前を持つようになったのです。

こんなに美しい自然環境の中で育ったお陰で、私も丈夫で健康な心と身を今まで維持することができたと思いますし、また私が環境保全に関わる仕事をするのにある程度作用したのではないかと思います。

ところで、こんな私の美しい故郷が、去年の冬に大きい環境災害に遭いました。  
海がいちめん真っ黒な油の海に変わってしまったのです。

汚染された海だけではなく、死んで行く貝と鳥たち、苦しむ人々を見ながらあまりにも悲しくてつらい思いをしました。

しかし、これを乗り越える希望を見つけることができました。

それは老若男女を問わず全国の国民の皆さんがこちら泰安（テアン）の海に駆けて来て、自分の事のように皆一緒に汗を流しながら油をとり除く手伝いをしてくれたからです。  
まだ解決しなければならぬことが残っていますが、その時の感動とありがたい気持ちは

私の胸の中に残っています。

今日、各国を代表していらっしゃったみなさんにこの席で直接お会いしてみたら、みなさんがお互いに力を合わせて継続的に学んで努力して行けば、これからみなさんは自分の国のために、そしてさらに、一歩進んで世界のために大きな事を成し遂げることができると思います。

もう一度、今日の大事な出会いを本当に嬉しく思い、これからみなさんが夢見るすべてのことが叶えられて、立派な大人になれますよう心より祈ります。

長い時間私の講演をご清聴くださいまして本当にありがとうございます。

ありがとうございました。